

JR とディスプレイ

JR and ubiquitous display devices

増井 俊之 (慶應義塾大学 環境情報学部)

Toshiyuki Masui

Faculty of Environment and Information Studies, Keio University

Although various digital signage systems are set up in many train stations and other public spaces, they are usually used for presenting general information for the people around them, and they usually cannot provide detailed information for individual users. We propose controlling digital signages with people's smart phones like controlling menus and scroll bars with a mouse on a personal computer. We believe that the “*real-world GUI*” will be the key to practical use of digital signages in public spaces.

キーワード: 実世界インタフェース, 実世界 GUI, デジタルサイネージ, スマートフォン, RFID

Keywords: real-world GUI, digital signage, smart phones, RFID

最近の JR の電車や駅はあらゆるところに大きな液晶ディスプレイが置いてあり、着実に IT 化の道を邁進しているようにも見えるのが結構であるが、現状では充分有効に利用されていないところも多いように思われる。

自動販売機の謎 ディスプレイだけ大きくても仕方ない欲しいものが楽に変えるのが大事欲しいものがないドリンクを取り出しにくいのにディスプレイだけ豪華なのはかえって不愉快になる

自分の好きなドリンクだけすぐ買えるようになっていてもいいのに

現在の停車駅表示 最近ドアの上に 2 枚の液晶ディスプレイが置いてある車輛が多いが、停車中に現在駅を表示してくれないものがとても多い。乗客にとっては、今どこにいるのか知ることがは重要なのに不思議である。

サイネージの活用 大型のデジタルサイネージが駅などに増えているが、単なる広告がほとんどあまり有益でない。対話的に使えるものは多くないし、個人適応してくれるものは無いようである。トイレやコインロッカー案内が一番多いらしいが、

自分がいきたい所への道順を教えてくれてもよさそうなものである。もしくは自分が買いたい本をそばで売ってるとか教えてくれたり

サイネージにスマホを当てるとトイレ行先などが表示されると便利であろう。おそらく、地図じゃなくて矢印だけ出ると良いかもしれない。

有益でないディスプレイが沢山有ると Web のように誰もディスプレイを見なくなってしまうので勿体ない

公共画面 (サイネージ) とパーソナルな機器 (スマホ) をうまく連携させる方法がいい

そのためにはケータイに搭載されている Felica 機能や NFC リード機能が利用できる。

インタフェースやサービスについて研究が必要だろう。